

### 産業建設委員会・分科会

**質** 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業補助金の内容は。  
**答** 牧草を自給生産するための機械の購入を予定している2経営体に対し、県が3分の1、市が4分の1の事業費補助をしようとするものである。

**質** 能代市田園空間・コミュニティ施設の指定管理者の指定について、種梅ふるさと家の今後の管理方針は。  
**答** 当面は市で管理していくこととしているが、今後、地元住民団体等への譲渡の可能性を探っていきたいと考えている。

**質** 能代市田園空間・コミュニティ施設の指定管理者の指定について、ブナの森ふれあい伝承館の今後の管理方針は。  
**答** 現在管理を行っている団体の意向を踏まえ、施設の譲渡について検討していきたく考えている。

(鍋谷 暁)



産業建設委員会の様子

### 議会改革調査特別委員会

12月16日に開催された委員会では、前回の協議結果及び各会派から提出された課題整理シートに基づいて検討を行った。

●情報伝達機能及び運用ルールについて  
**意見** LINEワークスを導入する場合は、セキユリテイの観点で、個人情報取り扱いをルール化すべきである。

**意見** オペレーティングシステムのアップグレードは承認を得ずとも速やかに行う必要があるのではないかと。

**協議結果** 情報伝達機能はLINEワークス導入を進めることで意見集約し、運用ルールなどは、継続協議とした。

議員定数、議員報酬及び政務活動費について  
●議員定数について  
**意見** 現行の20人から18人とする。  
**意見** 現定数から2人から4人減とする。

**意見** 多様な人材が議会にチャレンジできる定数になっているかの観点が必要ではないか。  
**意見** 削減すれば地域の情報把握と市民サービスの低下が懸念されるが、個々の議員活動量を増やすことで解消できる。

**意見** 類似都市と比較してみると、現定数は適正とは言えない。  
**意見** タブレット端末の導入による議会費の増額も視野に検討する必要がある。

**意見** 市民の意見を反映したり、エック機能を果たすため、定数を減らすべきではない。  
**意見** 人口減少に合わせて、定数を減らすべき。

●議員報酬について  
**意見** 定数を減らせば個々の議員活動量が増えるため、増額を検討すべき。  
**意見** 現行の水準は、県内同規模の他市と比較しても妥当である。

**意見** 類似都市の報酬と本市の水準を参考にし、議員の活動内容と比較して決定すべき。  
**意見** 65歳以下の議員や子育てをしている議員に別途手当を支給すべき。  
**意見** 長期欠席議員の議員報酬の在り方も調査研究すべき。

#### ●政務活動費について

**意見** 県内他市との比較、物価高騰に伴う経費の増に伴い、年間12万円から18万円へ引き上げを検討するべき。  
**意見** 調査や活動を充実させるため、増額が必要である。

**意見** 主に視察費用に充てており、視察の成果として当局へ政策提案等していることから、見直しは定数と合わせ議論すべき。  
**意見** 視察に多く使われており、委員会での行政視察があるので廃止すべき。

**意見** 現状維持でよい。  
**意見** 使途の適正かつ透明化を図るため、実費払い等を議論すべき。

**協議結果** 今回出された意見について、次回、会派の意見を持ち寄ることとした。

(安岡明雄)

### 意見書の提出

12月定例会では、5件の意見書案を可決し、関係行政庁へ提出しました。

◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書提出について

◆政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書提出について

◆介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出について

◆小・中学校給食費の無償化を国の制度として実施を求める意見書提出について

◆18歳までの医療費窓口負担の無料化を国の制度として実施を求める意見書提出について

